



Mutual Trust

奉仕の感動を分かち合おう。

世界理解月間

世界で「絆」を！

ロータリー友情交換委員長 中窪 啓司（平城京RC）

ロータリアンの皆様の中には当委員会を「遊び」の委員会あるいは「海外旅行」の委員会と誤解されている方もおられるかも知れません。

しかし、決してそうではありません。

人類の行動範囲は急速に広がり、今や政治、経済、文化、宗教、どれをとっても地球規模で動いています。

そしてこの国際社会の中でロータリーは、創立以来100年を超え、その組織は世界中に広がり、社会主義国であるロシアや中国にもロータリークラブが存在する時代であり、現在、166ヶ国で約120万人のロータリアンが活動しております。

これはロータリアンの先人達の努力の賜物であり、また世界がロータリーを必要とし、受け入れたからであります。

そしてロータリーは今、各々の地域に根差した奉仕活動とともに、世界に広がった組織を利用した国際的な奉仕活動が求められていると思います。

そのためには他国の地区ロータリークラブ、ロータリアンを理解し合って「絆」を作ったうえで、異なる国のロータリアン同士が協力し合ってプログラムを推進して行かなければなりません。

その世界での絆づくりが当委員会の任務であり、具体的には友情交換プログラムや姉妹・友好クラブの提携・推進あるいは国際大会への参加等であり、それらによってつくられた「絆」が次のGSEや世界社会奉仕プロジェクトに発展していくものと考えます。

また一方、ロータリーライフをエンジョイすることが大切であると考えます。

そして当委員会が企画します友情交換プログラムや親善訪問などに参加して頂いて、その国際交流の中で、ロータリアン同志だと共通の話題も多く、また逆に異文化も体験出来、ロータリアンでよかったと実感して頂けるのではないかと思います。そういう意味で当委員会はロータリーライフを楽しむための機会を皆さんに提供するという重要な役割をも担っていると考えます。当委員会の事業を大いに利用してロータリーライフを楽しんで頂きたいと思えます。

さて今年度も上半期も過ぎましたので報告も兼ねて当委員会の今年度の活動を御紹介させていただきます。

まず友情交換プログラムとして本年度は10月7日から10月14日までアメリカ ニュージャージー州の7490地区を訪問してまいりました。

友情交換プログラムはいくつかの形態はありますが通常2つの地区の1つあるいは複数のロータリアンのカップルが互いに相手の地区を1週間から10日間程訪問して交流を深めるものであります。

地区内で参加を募りましたが、例年のように参加者がなく結局、私達夫婦と大津ロータリークラブの清水晟さん御夫妻が訪

問することになってしまいました。食わず嫌いの方もおられて参加が少ないのかも知れませんが、私は過去2回、友情交換プログラムを経験していて、その楽しさを体験しておりましたので、この事態を快く受け入れることが出来ました。10月7日開空で清水夫妻と待ち合わせ、一路ニュージャージーへむかいました。ところが、機中で突然清水さんが気を失って倒れられ、機内は騒然となり、応急措置が施されましたが、顔面蒼白で一瞬清水さんが亡くなるのではないかと思い、アメリカに着いたら今回のプログラムをキャンセルして日本へとんぼ返りしないといけないのではという思いが頭をよぎりました。しかし暫くして回復され、後で聞いたところでは空気枕を栓をしたまま膨らませようとして酸欠状態になったようで大笑いとなりました。

清水さんは到着後はピンピンして、名うての市民ランナーでもある清水さんに翌朝から毎朝ジョギングを付き合わされることとなりました。

ニュージャージー州はニューヨーク州からハドソン川を渡ったところであり、ニューヨークのベッドタウンで人口も多いのですが“Garden State=アメリカの庭”と言われ緑の多いところです。

到着後、当初はフォートリーヒルトンホテルに滞在し、今回の7490地区の窓口であるバスターガバナーのケントさんと日本人の奥さんのユキコさんにハドソン川のクルージングやマンハッタンの市内観光やメトロポリタンミュージアムでの絵の鑑賞を楽しみましたが、3日目からは女性ロータリアンで台湾国籍のアリシア宅でホームステイさせてもらい、昼間は会合の連続で

した。

まず、7490地区のスタッフミーティングに出席し紹介され、女性のグロリア ガバナーはじめ、バスターガバナーの方々とバスター交換、名刺交換や歓談をすることができました。また、30才位の若いロータリアンが100万ドルを寄付したということで紹介されたときは、びっくりさせられました。

他は知りませんがニュージャージーでは、ロータリーの会費は日本と異なり年間100ドル位で大変安いのですが、例会での食事代はその都度各自が支払い、寄付も各自がかなりの額をするように聞きました。

そして次の日からはイングリウッド ロータリークラブ、アリシアが所属するウエイン ロータリークラブ、パロマス ロータリークラブの3クラブの例会に出席し、バスター交換やスピーチをさせてもらいました。

私は英会話が苦手で、事前に用意した文書を読み上げるような形でのスピーチになってしまいました。いつもながら、この時ばかりは情けない想いかられ、日本に帰ったら英会話をやるぞと思うのですが、済んでしまうとまた全くやらないのが常であります。

また、車で3時間程移動してニュージャージー州全6地区合同のアッセンブリーに出席しました。そこへビル・ボイドRI会長が来ておられ紹介して頂き、一緒に記念写真を撮ることが出来、それは私達にとって、一番印象に残る幸運な出来事となりました。

ところで、アメリカのロータリーでいつも感じるのは女性のロータリアンが多く、しかもクラブの中でリーダー的立場の人



友情交換プログラム ニュージャージー訪問 - ウィリアム・ボイドRI会長と一緒に -



ハワイ親善訪問 - ジム・バーナー ガバナー（前列中央）を囲んで -



ハワイ親善訪問 - ホノルルロータリークラブにて -

も多いということです。そしてこの事をジョン・マスカバストガバナーに尋ねると、予想される回答ではありませんが、女性も多いほうが色々な考えを生かすことが出来て良いとのことでありました。

また例会も服装自体もそうですがフランクでジョークを飛ばしながら、皆で例会を楽しんでいました。

ロータリーに関する考えが日本とかなり違うように感じられます。アメリカの良い面は日本でも取り入れて行くべきだと考えます。それが増強にもつながるかも知れません。

アリシア宅では、弁護士の御主人と一緒に私達を暖かく受け入れて頂きました。

料理等の家事も御主人も分担して行うなど、あまり私の家内には見せたくない面もありましたが楽しく過ごさせて頂きました。

そして幸運にもアリシアとは3週間後、私達夫婦はクラブの姉妹提携の更新で、アリシアは仕事で台湾に行くことになり、その姉妹提携更新の式場で再会することが出来ました。またそこでアリシアに以前から依頼を受けていた私が台湾で最も尊敬するロータリアンを紹介することが出来て、交流の輪を更に広げられたことを大変嬉しく思いました。

そして今年の3月末から4月上旬に今度はニュージャージーチームを受け入れることになっています。地区内の観光や地区大会に参加してもらったり、平井ガバナー主催の歓迎夕食会を開催して精一杯のもてなしをしたいと考えております。

また当委員会は今年度、姉妹・友好提携クラブ提携推進の目的で10月30日から11月4日までハワイ5000地区を親善訪問してまいりました。

地区協議会の際、アンケートをとったところ96クラブ中25クラブが姉妹あるいは友好クラブ未提携で、うち3クラブが提携を希望しているとの結果が出ました。そこで参加を募ってハワイを訪問し、交流を深めハワイで提携を希望するクラブがあれば、提携のきっかけになればと考えたわけでありました。またハワイのロータリークラブを訪問し、国際交流を深め、また、地区内のクラブ同志の姉妹・友好提携の理解をしてもらうこととしました。そしてあすかロータリークラブの廣田会長、中川幹事、丸岡ロータリークラブの高嶋さん、当委員会大町さん、光田さんやその家族の方達に参加して頂きました。

10月30日ホノルル到着後、地区委員会で11月1日予定の2650地区、5000地区合同夕食会の打ち合わせを行いました。

そして10月31日、まず、京都クラブが提携されていて、350名余の会員を擁するホノルルロータリークラブの例会に出席し、スピーチと名刺・バナー交換を行い、またそこへガバナーのジム・バーナーさんが出席してくれていたため、名刺交換や合同夕食会の打ち合わせをさせて頂きました。

11月1日昼間、ダイヤモンドヘッドの頂上までウォーキングをして楽しんだ後、夕方からオアフカントリークラブでの

2650地区、5000地区の合同夕食会に臨みました。

当地区からは8名、ハワイ側からは15名の参加でジム・バーナーガバナーはじめ歴代のバストガバナーや提携を希望しているポイプビーチRC(カウアイ)、キエイワイレアRC(マウイ)、ウインドワードサンライズRC(オアフ)の3クラブの会長、あるいはバスト会長等が出席され、大歓迎して頂き交流を深めることが出来ました。

その中で姉妹・友好提携希望クラブの具体的な紹介やピエールと次回、平井ガバナーに是非お会いしたいとの話があり、提携の実現に向けて再度の訪問を合意しました。

その翌日、平井ガバナーが所属されている京都洛中ロータリークラブが提携されているワヒアワ・ワイアルロータリークラブを訪問し、大歓迎を受け交流を深めることができました。同クラブはホノルルロータリークラブと異なりローカルなイメージのクラブではありますが、アットホームな素晴らしいクラブでした。

そして日系2世のワカイさんは平井ガバナーがクラブの幹事のときに姉妹提携したとのことで是非、平井ガバナーにお会いしたい旨の話があり、ガバナーにその旨お伝えしました。

そして具体的な日程は未定ではありますが、2650地区の地区大会の後、平井ガバナーも御参加で大挙しての第2回のハワイ親善訪問を予定しており、その際には両地区の友好を更に深め、稔りあるものになりたいと考えております。

また今年は、ソルトレイクで国際大会が開催されます。

国際大会は国際大会推進委員会で“ミスター国際大会”の山本委員長が担当されていますが、当委員会もお手伝いをしております。

それは国際大会こそ世界中のロータリアンが一堂に会し、国際交流の絶好のチャンスだからであります。単に総会に出席してスピーチを聴いて帰るだけでは、あまりにももったいない気がします。

会場にはバナー交換等をするコーナーが設けられていますので、国際交流に利用されたらと思います。どうかソルトレイクでの国際大会で大いに国際交流を図って頂きたく考えております。

国際大会への登録をお待ちしております。

以上、今年度上半期の報告を兼ねて当委員会を紹介させて頂きましたが、本来地区委員会はお手伝いするだけで国際交流の主役は、各クラブまた各ロータリアンの皆様であります。当委員会の不行届きの多々あるかと存じます。どうか御指導、御鞭撻頂きまして、大いに国際交流の事業に御参加してくださいませようお願い申し上げます。



Mutual Trust
奉仕の感動を分かち合おう。

若き親善大使

ロータリアンの皆様こんにちは。青少年交換委員長の楠滋夫です。日頃は、青少年交換委員会にご理解とご協力をして頂き深く感謝申し上げます。昨年度の受入学生が来てまた、派遣学生が行って4ヶ月が経ちました。2650地区に来ている学生達は日本語がかなり上手に話せるようになっており、また派遣学生達も毎月送ってくるマンスリーレポートの様子で頑張っているようです。

今年度の派遣学生の選考会も平成18年10月9日に行い、その折には平井ガバナーも面接に立ち会って頂き、今までにはなかった面接となりました。ガバナーは、面接を受けた学生達全員に「あなた達は素晴らしい経験をするようになるでしょう、そして将来は必ずロータリアンになって下さい」とおっしゃっていました。今年度は8名の派遣予定学生が、すでに3回の研修会を受け、準備も着々と進んでいます。

さて、青少年交換プログラムは皆様もご存知の通り、毎年多数の青少年が他国の人々の文化、問題、業績について体験する機会に恵まれます。学生達は、このプログラムによって、世界観を広げると同時に、自分自身も成長していき、彼らは世界観

を広げ、内省力を深め、帰国します。その帰国した学生達はその海外で経験してきたことを生かして社会で頑張っています。

昨年6月に世界大会がデンマークで開催された時、コペンハーゲンの町の中でラーメン屋さんを見つけ入りました。日本語を流暢に話すデンマークの青年が注文を取りに来てくれました。そこで私は彼に「どこで日本語を勉強したの？」と尋ねましたところ彼は「僕は、ロータリーの青少年交換プログラムで1年間東京にいました。」と答えました。偶然にも青少年交換プログラムに参加した青年に遭遇して私はとても感動しました。また、先日委員会のメンバーがブラジルに旅をした時に、日本からの飛行機に搭乗した中でキャビン・アテンダントの女性に声をかけられてビックリ、よく見ると彼女は自分達がかつてブラジルに交換学生として派遣した学生の一人だったと！彼もビックリしたと同時にとてもうれしかったと言っていました。このようにこの青少年交換のプログラムに参加した青少年達は世界のどこかで誰かの役に立っています。このロータリーの青少年交換プログラムの目的は確実に果たされています。私は、彼らが発する前にいつも話すことがあります。それは「あなた達は若

青少年交換委員長 楠 滋夫（亀岡中央RC）

き親善大使なのです。大使として自分達の国及びロータリーでは2650地区の代表として1年間勉強をする事を忘れないで下さい」と。

このプログラムがRIの公式プログラムになってから35年が経ちました。世界には、数え切れないほどのこのプログラムを経験した学生がいることでしょう。また、その学生が大人になり、地域社会において指導者としての役割を果たすようになると、青少年交換における経験の成果が、その役割の中で生かされていると思われれます。そして、ロータリアンになっている子も沢山いると思います。世界平和を永続させる重要な鍵を握っているのは若い人達です。

この青少年交換プログラムを通して、文化をこえた一つの小さな友情が異文化への理解を深め、世界平和へとつながっていく事を私は確信しています。今後とも、この青少年交換プログラムにご理解とご協力をお願い致します。



『ロータリーの友』にご投稿ください

『ロータリーの友』では、会員の皆さまのご投稿をお待ちしております。クラブや地区での活動、ロータリアン同士の交流に関する原稿や写真、ロータリーに対するご意見など、下記をご参照の上、ロータリーの友事務局までお送りください。なお、下記とは別に、特集用の原稿を募集させていただくこともあります。時折、ウェブサイトの「ロータリーの友からのお知らせ」をチェックしてください。

※2005年7月号より、『ロータリーの友』の投稿規定が一部変わりました。なお、活動の原稿や写真は、できるだけ早くお送りください。時間が経過すると掲載できないことがあります。

卓話の泉

- ・「クラブ週報」「クラブ会報」に掲載されている卓話の中から、客観的内容のもの、ミニ知識となるものを選び、要約して掲載。
- ・卓話の掲載された週報をお送りください。

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

- ・1か月に1人はがき1枚に3句(首)まで。

言いたい 聞きたい

- ・「ロータリー」ならびに「ロータリーの友」について感じたこと、建設的な意見、疑問・質問、問題提起など。また、本欄に掲載の意見・質問に対する、回答・意見など。
- ・800字以内。

友愛の広場

- ・エッセー、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。
- ・1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

ロータリー・アット・ワーク

- <写真編>
- ・ロータリークラブ、インターアクト・ローターアクトなどの奉仕活動をカラー写真で紹介。
- ・写真と150字程度の説明文。記念写真(集合写真)は、掲載できません。
- ・必ず、活動日を入れてください。
- <文章編>
- ・ロータリークラブならびに地区の活動を紹介。
- ・600字以内。関連写真があれば添付してください。

私の宝物

- ・家族、ペット、思い出の品、コレクションなどの宝物を写真で紹介。
- ・写真と50～100字の説明文。

私の好きな一字

- ・ロータリアンの好きな言葉を肉筆で書いてもらい紹介。
- ・筆、万年筆、サインペン、その他、好きな用具を使い、好きな文字を1文字書いてください。
- ・その文字を選んだ理由、好きな理由を50～100字で書いてください。

内外よろず案内

- ・国内外の会員間の趣味の交換、催し物の案内など。
- ・200字以内。

掲示板

- ・新クラブ・仮クラブ、事務所住所変更、例会変更などを掲載。
- ・各種変更は早めにお送りください。

●お願い

原稿について

- ・クラブや地区の活動紹介の原稿または写真は、活動後、1か月以内にお送りください。時間が経過した原稿や写真は掲載できません。
- ・パソコンの場合は、プリントアウトした原稿にフロッピーディスクを添付してください。手書きの場合は、必ず原稿用紙に、楷書でお書きください。

写真について

- ・デジタルカメラで撮影した写真は、プリントしたものに合わせデータを送ってください。データの形式は、JPEG、BMP、EPS、TIFFをお願いします。Eメールで送られる場合も、解像度を下げないでください。
- ・フィルムカメラで撮影した写真の場合は、必ずプリントを郵送してください(Eメールでは送らないでください)。

その他

- ・ご所属のクラブ名、連絡先の住所、電話・ファクス番号、(Eメールアドレス)を必ず記入してください(編集にあたって、ご連絡をさせていただくことがありますので、昼間に連絡の取れるところをご記入ください)。
- ・お送りいただきました写真は、原則として返却いたしません。
- ・写真ならびに原稿は、「友」英語版、「友」ホームページに掲載させていただく場合があります。
- ・取捨選択は、ロータリーの友常任委員会ならびにロータリーの友事務局編集部にご一任ください。ご投稿多数につき、誠に勝手ながら、掲載・非掲載のご連絡は出しておりませんが、送付後6か月をめどにご判断ください。

送り先

ロータリーの友事務所
郵便 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
FAX 03-3436-5956
Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

地域環境の改善にむけて 北嵯峨高校生物部の取組み

クラブ社会奉仕委員長 今西 到 (京都西南RC)

主催：京都西南ロータリークラブ
担当：社会奉仕委員会・職業奉仕委員会・新世代委員会
日時：平成18年12月12日(火)午後
場所：京都センチュリーホテル「豊明の間」

本年度、2650地区・平井義久ガバナーが強調事項として「水保全」を挙げられていますように、我々にとって水問題をはじめとする環境問題からは目をそらすことは出来なくなってきています。

3年に一度、「世界水フォーラム」が開催されていますように、世界規模でも安全な飲料水と衛生施設の確保、食料生産のための水確保、水系生態系の保全、水資源の効果的な利用と効果的な配分などの水に関する課題が認識されており、議論が進められています。

このように我々はニュースや新聞を通じて地球の水問題に関する情報を目にしたり、耳にしたりはしていますが、では自分が住んでいるこの町や身近な地域がどのような環境のもとにあるのか、どのような移り変わりをしているのかなんて聞かれると、途端に言葉を失ってしまいます。

そこで、北嵯峨高校生物部の皆さんが地域環境を調査研究しておられるということで、当クラブの会員に講義を開いてもらうこ

とになりました。

当日は、第2650地区社会奉仕委員会 中島喜代一委員長、奉仕プロジェクト委員会 佐伯希彦委員長はじめ多数の参加者がありました。

引率者の木戸叔裕先生はじめ、7名の生物部のみなさんはかなり緊張した面もちでスタンバイ。

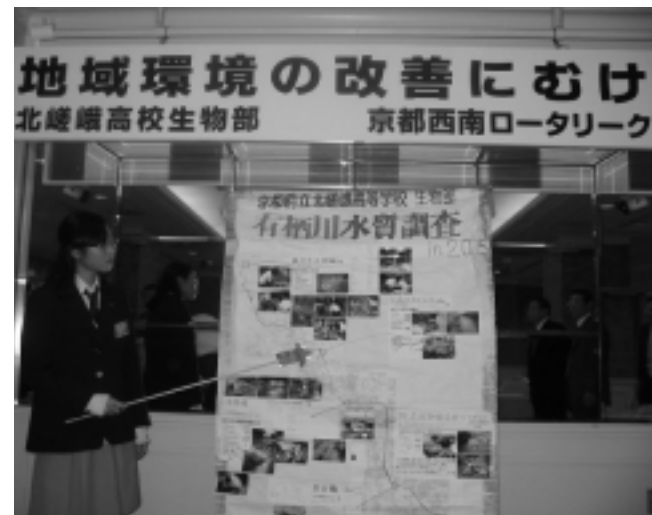
当クラブの磯橋克康会長、奉仕プロジェクト委員会・佐伯希彦委員長、地区社会奉仕委員会・中島喜代一委員長の挨拶の後、張りつめた緊張感が解きほぐされるように、のびのび生き生きとした講義がはじまりました。

「北嵯峨田園地帯におけるタンポポ調査結果報告」「有栖川環境調査結果報告」をパワーポイントを駆使しながらのそのプレゼンテーション能力の高さに感心するばかりです。

彼らは、豊かな自然環境とは何であるかと投げかけました。様々な自然観・価値観が混在する中で、ヒトの経済活動と豊かな自然環境との調和が必要であると。

我々大人達が考える自然環境の目安は少しずれていたのかもしれませんが。商業的な戦略やメッセージに踊らされたり、感染したりしながら本質を見失っていたような気がします。

最後に当クラブの横山卓雄会員より、「研究とは継続することである」という言葉でこの勉強会は幕を閉じました。



山深き里に350名

クラブ広報・雑誌委員長 松岡 康毅 (檀原RC)

奈良県南部は、人工造林による良質材の産出が全国的にも有名で、「吉野杉」「吉野檜」は伝統に裏付けられたブランドです。

しかし、外材の輸入増大に伴う内地材価格の低迷により林業経営の危機を生んでいます。

林業の再生は、地場産業の振興という面から重要であるばかりでなく、「森」の保全、即ち地球環境保全と表裏一体の関係にあります。

当クラブには、林業関係の会員や山林保有会員が多く、林業再生に対する関心は極めて高いものがあります。

2006年11月11日、一昨年に続き、「緑の時代をつくる」奈良県が森林県としてよみがえるために一と題したシンポジウムが、当クラブ外2団体の共催で開催されました。

シンポには、林野庁林政部長、森林資源管理学教授、富士通総研研究員、林業研究家などが加わり、我が国林業を取り巻く状況と林野庁の方針、林業を経営として成り立たせる為のコスト管理、後継者を育てる事ができる展望を生む林業経営の具体的実践、などについて活発な意見交換が行われました。

特に、当クラブ所属の会員による、「大橋式」高密度路網整備の実践報告が、林業再生を可能にする方策として注目を集めました。

大台ヶ原の麓の村で開かれたこのシンポには、県内外各地から350名をこえる参加者が集まり会場は溢れかえる盛況でした。



装いの心 シニアに元気を 「生き生きシニア装いの集い」講演とファッションショー

クラブ幹事 松井 信五（京都山科RC）

去る平成18年11月19日（日）京都山科ロータリークラブは京都市国際交流会館に於いて京都東山シニアクラブ・山科区のシニアの方々並びにファッションセラピーを研究されている京都女子大学家政学部 泉加代子教授とその研究室の学生達と共に、「生き生きシニア装いの集い」というイベントを開催致しました。

これからの高齢化社会にむけて、ファッションの楽しみを通じた健康づくりを提案、おしゃれが高齢者の生活の質を向上させることを目的として講演会と「介護予防」を目指したシニアファッションショーを企画し、シニアのモデル達が押し入れにしまい込んでいた着物や古着などを学生がデザインし仕立て直した服で、シニア有志がモデルを務めファッションショーを開催。モデルの年齢は63才～94才と幅広く、我がロータリークラブの会員もモデルとして出場しました。

当日はシニアのモデルさん27名、学生17名と共にR1第2650地区の平井義久ガバナーも出席頂き、京都山科R.C.会員全員参加の下、市民来場者300名、総勢400名を上回る参加者で、高齢者が自立した生活を送れるように、また、健康寿命を延伸させるためにも市民レベルでの啓発活動を実施し盛会の裡に終了しました。



尚、広報に関しましては、

前日 KBSラジオ、毎日新聞京都版にて告知され

当日取材としては

KBSテレビ...当日19日 17時45分からの京都新聞ニュースにて放映されました。

京都新聞...翌日の地域面に掲載されました。

朝日新聞...翌日の京都版に掲載されました。

読売新聞...翌日の京都版に掲載されました。



京都新聞 2006年11月20日



朝日新聞 2006年11月20日



読売新聞 2006年11月20日



奉仕プロジェクト事業「新世代のための講演会」を開催して

クラブ奉仕プロジェクト委員長 林 与一郎 (三国RC)

去る11月9日(木)、福井県坂井市三国体育館に於いて、「新世代のための講演会」を開催しました。当クラブのテリトリー(旧三国町・旧芦原町・旧金津町)の各中学校生徒・先生1058名、更に民生児童委員・青少年育成市民会議・体育協会・PTA・一般市民等、約1400名の来場を頂き地域をまきこんで一大イベントとなりました。

今年度よりCLPの導入で新設された奉仕プロジェクト委員長に任命されましたが、いったい何をしたらよいのか、又従来の予算もなく小委員会のお手伝いでもすればいいのかと軽々に思いながら地区協議会に臨んだ私でしたが、分科会で講義を聴き考えが一変、RCの根幹である奉仕理念をしっかり勉強しなければいけないと認識を新たにしました。ガバナーのご提言も頂き、患者なりに無い頭を絞って考えたのが、先ず新世代を対象に講演会を行いその中に、社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕に関連したプログラムが組めれば、理想のプロジェクトが出来ると思いました。

7月4日第1回のプロジェクト委員会を開き提案をしたところ、各委員長が協力するという事で早速事業計画の準備に入りました。最初、新世代に聴かせる講演者を「有森裕子さん」に内定し、両市教育長に趣旨を説明したところ快く賛同して頂いたのついでに共催依頼も申請しました。次に各中学校校長に事業計画を説明、生徒・先生の来場を検討して頂くようお願いしました。直ちに講演者のスケジュールと学校の行事を照らし日程を調整。その後、委員会を例会後に度々開き、社会奉仕より今年度重要事項である「水保全」の勉強会を、職業奉仕からは、先生方に水保全を教育の一環に採り入れて貰うよう働きかける。更に国際奉仕からは、6年ぶりに当クラブがオーストラリアより交換学生を受入れているので、生徒達に受入れ・派遣学生の滞在報告を聴いて頂きRCの交換学生プログラムに関心をもって貰う。又、RCに対し偏見のない生徒達にRCとはどういう組織でどんな活動をしているか、すぐ分かるようなパンフを広報委員会が作成することに決定した時点で、描いていたプロジェクト事業の形が見えてきました。

9月下旬、平井ガバナー公式訪問のクラブ協議会において、ガバナーのご指導と励ましの言葉にこのプロジェクトが成功すると確信しました。さて問題の事業費は、理事会において特別友愛会計より半分を支出する事で決定し、残りの半分は4つの委員会より分担する事で大枠の予算が出来ました。

後は開催に向けて各団体・報道関係との後援依頼や緻密な連絡、又タイムスケジュール・会場設営・前日、当日の準備役割分担表を作成し、3年未満の会員に各役割分担のリーダーになってもらい細かい打ち合わせ会議を開き、次に例会卓話の時間に全体会議

を行いました。全会員に事業に対する理解と士気を高めてもらう狙いもあるし、このプロジェクトを1つの委員会でやるのではなく全員で成功させたいと願ったからであります。

宮崎バスターガバナー、丸岡RC会長・幹事、加賀RC会長を始め、地区より大藤副幹事長、中島地区社会奉仕委員長、吉川地区新世代・RYLA委員長のご臨席を賜りました事も全会員が緊張感を持ち成功した大きな要因であります。

1月中旬に発表する「水保全の標語・作文募集」の選考がまだ残っていますが、今回このような大きな事業を成しえたのは、午後の授業を取止めてまで生徒を参加させてくれた教育長・学校長さらに諸関係者、全会員のご理解とご協力のたまものであると共にCLP導入のお陰だと思っています。

最後に会場設営作業で全会員が汗をかきながら、1600席の椅子を搬入・搬出した事で終わった時の達成感と会員同士の絆がさらに深まった事、生徒・先生をはじめ総ての聴講者が真剣に聴いて下さったこと等が自分自身の大きな褒美だと今、静かにふりかえながら想いをしているところです。





YEP交換学生・日本の伝統行事に参加

第3ホストファミリー 岩滝俊彦・良子(福知山RC)

京都北部・福知山市にて、2007年1月18日(木)地元新聞「両丹日日新聞」一面トップ記事として広報されました。

福知山ロータリークラブにて昨年8月10日より受け入れております交換学生(Branch Michelle)が、福知山市夜久野町の山間地区・金尾で伝統を受け継いで続けられている1月中旬の「コト(事始め)」の行事に参加させて頂きました。

彼女は福知山に来て3ホストファミリーを経験しまして日本語(福知山弁)も流暢になり地域の方々と溶け込んでおります。

彼女・交換学生達の目的である「日本文化に親しむ」機会にも自主的に参加し、地元の皆様との国際交流を楽しんでおります。

「両丹日日新聞」の詳しい内容とカラー写真は、下記アドレスよりご覧ください。

<http://www.ryoutan.co.jp/news/2007/01/18/001352.html>



両丹日日新聞 2007年1月18日



第2650地区 2008-2009年度ロータリー財団国際親善奨学生募集

奨学金の目的と種類

ロータリー財団国際親善奨学金プログラムは、国際親善使節を海外に留学させ、文化の相違に対する意識と尊重の念を増進させることにより、ロータリー財団の使命である世界理解と平和の推進を図ることを目的としています。当地区では、次の2種類の国際親善奨学金受領者を募集致します。

1. 1学年度国際親善奨学金
国際親善を目的とする。
奨学金支給額： 一律米貨23,000ドル。
2. マルチ・イヤー国際親善奨学金(2年)
国際親善及び学位取得を目的とする。
奨学金支給額： 一年につき一律米貨11,500ドル(計23,000ドル)。

募集期間と人数

1. 第一次選考(推薦ロータリークラブ審査)
推薦ロータリークラブで応募者を選考し、地区に推薦(2名以内)。
申請書類提出期間：2006年12月下旬~2007年3月(クラブにて締切日を設定)。
2. 第二次選考(地区審査)
各クラブから推薦を受けた応募者全員に対し試験を実施。
地区選考合格者数は未定。(前年度実績13名)
各クラブからの申請書類提出期限：2007年3月31日(土)必着

応募資格

1. 住民票または本籍が地区内にある方。もしくは、大学所在地または勤務先が地区内の方。
 2. 2008年7月1日時点で短大卒以上。4年制大学の場合は3回生以上。
 3. 2008年7月1日~2009年6月30日の間に留学開始をお考えの方。
 4. オリエンテーション(2007年6月、2008年4月、6月)に全て出席可能な方。
- 注) 当地区では、他地区との併願は認めておりません。従って、併願者は応募資格を喪失します。

語学能力

- ・英語圏への留学：TOEFL筆記テスト587点以上
(或いはインターネット・テスト94点以上、コンピュータ・テスト240点以上)
 - ・英語圏以外への留学：BERLITZ(Aテスト) レベル5以上。
- 注) これらは応募基準であり、後にロータリー財団から指定される教育機関への入学を約束するものではありません。

地区選考試験日時

2007年5月19日(土) 全日 / 京都商工会議所
面接試験および語学面接試験を予定しております。

お問い合わせ

国際ロータリー第2650地区ガバナー事務所
財団奨学金・財団学友委員会

〒604-8186 京都市中京区烏丸御池南東角
アーバネックス御池ビル西館3階
Tel: 075-229-2650 Fax: 075-229-2651
Email: gov06-07@rid2650.gr.jp



Mutual Trust
奉仕の感動を分かち合おう。



Mutual Trust
奉仕の感動を分かち合おう。

福井県 (19クラブ)

クラブ名	11.30 会員数	入会	退会	12月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
福井	122	0	2	120	119	9	8	3	86.63%	2
福井あじさい	52	1	1	52	49	4	1	4	78.00%	3
福井東	40	1	0	41	41	1	1	4	81.90%	3
福井北	118	0	2	116	107	12	3	3	89.73%	5
福井南	72	0	0	72	71	1	0	3	82.00%	0
福井西	47	0	2	45	46	1	2	4	73.92%	0
福井フェニックス	53	0	1	52	53	0	1	4	75.00%	10
福井水仙	33	0	3	30	34	1	5	3	70.00%	3
勝山	28	0	0	28	28	0	0	4	89.29%	3
丸岡	36	0	1	35	36	2	3	4	79.90%	0
三国	44	0	0	44	44	1	1	4	84.61%	2
大野	37	0	0	37	37	2	2	3	79.30%	4
鯖江	53	0	1	52	52	1	1	4	95.59%	2
鯖江北	35	0	1	34	35	1	2	3	95.09%	0
武生	66	0	1	65	67	1	3	4	79.58%	2
武生府中	45	0	0	45	47	0	2	3	97.03%	0
敦賀	54	0	1	53	54	1	2	3	80.00%	0
敦賀西	28	0	1	27	29	0	2	4	77.12%	3
若狹	40	0	0	40	37	3	0	3	98.25%	0
小計	1,003	2	17	988	986	41	39	平均 3.5	平均 83.84%	42

滋賀県 (22クラブ)

クラブ名	11.30 会員数	入会	退会	12月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
びわ湖八幡	51	0	0	51	48	5	2	3	86.96%	1
五箇荘能登川	18	1	0	19	17	2	0	3	82.35%	0
彦根	79	0	0	79	77	3	1	4	97.63%	2
彦根南	65	0	0	65	65	0	0	4	91.11%	0
湖南	39	0	0	39	39	0	0	4	91.97%	1
草津	43	0	0	43	39	4	0	3	89.82%	0
水口	49	0	1	48	49	1	2	3	95.12%	0
守山	50	0	1	49	50	0	1	3	93.13%	0
長浜	60	0	1	59	62	1	2	3	92.98%	0
長浜東	68	0	0	68	68	1	1	4	98.36%	0
大津	121	0	2	119	114	7	2	3	99.35%	0
大津中央	37	0	0	37	35	2	0	5	88.89%	2
大津東	25	0	0	25	24	2	0	3	75.35%	1
大津西	28	0	0	28	26	2	0	3	95.06%	1
大津唐橋	30	0	1	29	30	0	1	3	100.00%	0
近江八幡	67	0	0	67	64	3	0	3	92.87%	1
栗東	39	0	0	39	39	0	0	3	85.09%	2
滋賀湖北	25	0	0	25	23	2	0	4	92.00%	0
高島	40	0	0	40	39	1	0	3	91.91%	1
野洲	38	0	0	38	42	1	5	4	86.29%	1
東近江	54	0	1	53	52	4	3	5	76.88%	0
八日市南	57	0	0	57	57	1	1	3	86.96%	2
小計	1,083	1	7	1,077	1,059	42	21	平均 3.5	平均 90.46%	15

奈良県 (13クラブ)

クラブ名	11.30 会員数	入会	退会	12月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
五條	44	0	0	44	43	2	1	3	95.41%	0
平城京	37	0	1	36	37	0	1	3	95.70%	0
生駒	37	0	0	37	37	1	1	3	86.67%	0
橿原	89	0	3	86	85	5	4	4	69.70%	3
あすか	53	0	0	53	54	0	1	3	93.48%	0
奈良	144	0	1	143	142	3	2	3	95.80%	3
奈良東	46	0	0	46	44	2	0	4	100.00%	0
奈良西	40	2	1	41	38	4	1	3	86.20%	0
奈良大宮	72	0	2	70	65	7	2	4	94.29%	0
王寺	31	0	1	30	30	1	1	4	93.40%	2
桜井	51	0	0	51	50	1	0	4	97.06%	0
大和郡山	51	0	0	51	50	1	0	4	97.86%	0
大和高田	98	0	0	98	96	2	0	4	88.49%	2
小計	793	2	9	786	771	29	14	平均 3.5	平均 91.85%	10

京都府 (42クラブ)

クラブ名	11.30 会員数	入会	退会	12月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
綾部	49	0	2	47	50	0	3	4	89.63%	0
福知山	64	0	0	64	63	2	1	3	94.44%	0
福知山西南	58	0	2	56	54	5	3	4	94.19%	1
亀岡	42	0	0	42	42	1	1	3	100.00%	0
亀岡中央	21	0	1	20	21	1	2	4	96.25%	1
京都	201	2	3	200	198	9	7	4	97.31%	0
京都伏見	95	0	2	93	92	3	2	4	85.00%	3
京都平安	38	0	0	38	37	1	0	4	76.39%	3
京都東	104	0	1	103	104	3	4	4	97.31%	0
京都北東	34	0	0	34	32	3	1	3	90.00%	0
京都市陽	33	0	1	32	34	0	2	4	97.38%	0
京都桂川	32	0	0	32	32	0	0	3	87.50%	0
京都北	64	2	0	66	65	2	1	3	97.66%	0
京都南	220	0	1	219	214	9	4	4	90.80%	0
京都モーニング	50	0	0	50	50	1	1	4	86.11%	1
京都紫野	68	0	1	67	69	1	3	4	100.00%	0
京都中	42	0	1	41	40	2	1	4	98.80%	0
京都西	104	2	1	105	101	5	1	4	99.67%	0
京都西山	24	0	0	24	25	0	1	3	80.63%	0
京都乙訓	41	0	0	41	41	1	1	1	89.52%	0
京都洛中	90	0	1	89	89	2	2	3	100.00%	0
京都洛北	70	0	2	68	68	2	2	4	100.00%	0
京都洛南	40	0	0	40	39	1	1	4	92.44%	1
京都洛西	50	0	1	49	49	2	2	4	89.99%	3
京都洛東	39	0	0	39	39	0	0	3	91.45%	0
京都嵯峨野	27	0	0	27	27	0	0	3	86.61%	0
京都さくら	29	0	2	27	29	1	3	3	75.28%	3
京都西北	47	0	0	47	46	2	1	3	92.21%	0
京都西南	59	0	0	59	58	2	1	4	96.00%	6
京都紫竹	50	0	0	50	52	2	4	4	91.20%	2
京都朱雀	42	0	1	41	42	0	1	4	90.44%	0
京都田辺	25	0	0	25	25	0	0	3	82.61%	2
京都山科	84	0	0	84	81	4	1	3	98.20%	0
京都山城	43	0	0	43	43	1	1	3	99.07%	0
京都八幡	35	0	2	33	36	0	3	4	93.04%	0
舞鶴	34	0	2	32	31	4	3	3	98.55%	0
舞鶴東	55	0	0	55	53	2	0	3	89.22%	0
峰山	40	0	0	40	40	1	1	3	94.12%	2
宮津	54	0	2	52	54	0	2	3	91.93%	0
園部	33	0	0	33	33	0	0	4	97.41%	0
宇治	45	0	0	45	45	0	0	4	94.65%	0
宇治鳳凰	45	1	1	45	45	2	2	3	94.45%	5
小計	2,420	7	30	2,397	2,388	77	69	平均 3.5	平均 92.56%	33

合計 (96クラブ)

合計	11.30 会員数	入会	退会	12月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
合計	5,299	12	63	5,248	5,204	188	143	平均 3.5	平均 90.26%	100

表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、12月会員数および入退会者累計数は、12月末日現在です。

ホームページで「絆」を深めよう

地区ホームページをご覧になっていますか？

ホームページを開くと、ガバナー事務所便り、クラブ便り、委員会便りのコーナー、が目飛び込んできます。ここでは地区で行われている活動を、ロータリアンの皆様に迅速にお届けするよう、随時更新できる体制をとっております。また、記事についてのご意見や感想をすぐに反映できるブログ形式となっていますので、情報を得ながら交流することも可能です。ガバナーの公式訪問をはじめ各クラブの奉仕活動も、どんどん掲載しています。「委員会でごこんなことが決まった！」「うちはこんな活動をした！」「こんなエピソードがあった！」などありましたら、是非ロータリアンの皆様に広く伝えてください。ガバナー事務所まで原稿と写真をお寄せいただきましたら、すぐに掲載いたします。ホームページを通じて、さらなる「絆」を深めませんか。

原稿・写真は、ガバナー事務所

gov06-07@rid2650.gr.jp までお送りください。

お問い合わせは、地区副幹事長 砂山(ガバナー事務所 大西まで)



<http://www.rid2650.gr.jp/>



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介をいたします。

クラブ活動の資料として(2)

- 「ロータリーが今直面している問題点 日本におけるロータリーを中心に」川尻政樹 2006 10p(D.2750地区大会)
- 「クラブ組織のあり方について」加来浩二 2006 2p(D.2750 IM)
- 「都心クラブにおける地域密着の社会奉仕活動について」片倉章雄 2006 2p(D.2750 IM)
- 「規程審議会『ロータリー第2世紀のルール』」田中毅 2006 6p(第34回ロータリー・ゾーン研究会報告書)
- 「CLP資料」吉田政和 2006 6p(D.2750 IM)
- 「C・L・P地区研修セミナーより」成田育夫 2006 4p(D.2500 月信)
- 「C・L・Pの“流れ”“考え方”“進め方”」藤川享胤 2006 1p(D.2800 月信)

- 「家庭、地域社会から子どもの心を変える二つのアプローチ」武笠和夫 2002 11p(学校経営第47巻6号)
- 【上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)】
- 「ロータリーこの麗しきものークラブ会長・幹事さんのために」塚原房樹 2006 41p
- 【申込先：塚原房樹 FAX(011)642-7560】
- 「研修のための私たちが理解するロータリーの組織」川尻政樹・坂本俊雄 2006 101p
- 【申込先：揺籃社 TEL(042)620-2615】

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=10:00~17:00 休館=土・日・祝祭日

逝去会員 謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。



内藤 幸男 氏
(京都中RC)
平成18年12月15日
享年75歳



清水 誠 氏
(福井RC)
平成18年12月19日
享年85歳



出口 榮二 氏
(綾部RC)
平成18年12月22日
享年87歳



中路 剛 氏
(京都西RC)
平成18年12月26日
享年57歳



徳岡 信士 氏
(福井フェニックスRC)
平成18年12月26日
享年64歳

ガバナー公式訪問同行取材

広報・IT・雑誌委員長 武部 宏 (京都洛中RC)

11月30日(木)夜 さくらロータリークラブ

さくらRCは昨年の6月19日にチャーターナイトを終えたばかり、京都市内では5年ぶりに設立され地区では96番目の新しいクラブです。設立に当たっては京都西北、桂川、西南の3クラブがスポンサーとなったのも異色です。夜間例会を開いています。

JR二条駅北に隣接する弥生会館の例会場には今年のテーマ「新しい風、しなやかに」と大書してあり新しいクラブの雰囲気がよく出ています。この日で発足後22回目の例会です。友愛の握手で始まり、痛いほど手を握り合いました

平井ガバナーとバナーの交換、満開のさくらがデザインされています。初代和田会長は「会員は目下28名と少人数ですが、当面40名を目標に頑張ります、今年度は奉仕と親睦を徹底するつもりです」と笑顔一杯で決意を述べられました。平井ガバナーも絆の大切さを語り、ロータリー財団への協力を呼びかけつつ「新しいクラブであっても同じロータリーのバッジをつけているのですから精一杯努力して今年の奉仕活動に取り組んでください。CLPの目標は少人数のクラブでもテーマを絞り、四大奉仕のエッセンスを盛り込んだ活動を全員参加で取り組むことによって人数の多いクラブと同じ感動を味わうことが出来るはずです」と強調されました。

フレッシュ、個性豊か、グッドバランスがさくらRCの特徴だそう、神邊鏗-特別代表も「会員の一人一人が前向きで、短い期間ながら和気藹々とよく纏まっています」とまずはほっとされた様子、私も同席し、例会、協議会のガバナー入退場時の拍手の大きいことに驚き、感動しました。

さくらRCで90回目となった公式訪問、ゴールが指呼の間となりました。



12月19日(火) 京都洛中ロータリークラブ

平井ガバナーの公式訪問、7月4日の京都西南RCに始まり、炎暑の夏も東奔西走、秋を経て96回目の最終回となりました。

12月19日火曜日、ガバナーの所属クラブである京都洛中RCです。師走も後半ながら暖かい好天に恵まれました。午前10時30分、京都ホテルオークラに平井ガバナーの到着です。すっかりお馴染みになったガバナーネクタイ、スーツの両袖には、絆と率先しようを象ったテーマバッジをつけてにこやかに車から降りたれました。迎えるは、先に到着していた太田補佐、市村公式訪問担当幹事、洛中RC側は西村会長、川島幹事、竹内副会長、長瀬エレクトに3名の副幹事、全員がスカイブルーのネクタイにテーマバッジを着けていますから、よく目立っていてロビーの人たちの視線を集めていました。長いエスカレーターを上って11時から会長幹事懇談会に臨まれました。会場前ロビー、少し離れた例会場、その向かいに用意された協議会場にも副幹事やSAが立ち、早い目に来場するパスト会長や地区委員の案内に当たっています。普段とは違う、ピリッとした雰囲気が漂っているのです。これがガバナーを迎える洛中方式とでも言うのでしょうか。12時から歴代会長、地区出向委員も加わりガバナーと公式会合が開かれました。平井ガバナーにはホームクラブですから満面笑みですが、心なしかあがっているようにも見え、ガバナー自身からもその言葉を発しておられました。記念写真を何枚か撮るうちに例会場へ向かう時刻となりました。ここでも会場入り口に歴代会長が並んでお迎えします。久しぶりにホーム会場でお会いするガバナーです。会員全員が大きな拍手で迎えました。ガバナーアドレスでは、他会場と違っては申し訳ないということで、RI会長のメッセージを原稿で伝えられました。ロータリー財団への協力を呼びかける時に全会場で見せてこられた1枚の写真、アフリカの荒地にポリオで痩せ衰えた子どもがうずくまり、その後ろに秃げ鷹が目を光らせているショッキングな写真です。これで96全てのクラブのロータリアンが強烈なショックを受け、ロータリー財団への思いを新たにしたいと思えます。

例会に続くクラブ協議会も全員参加です。例会場を出た会員がそのまま協議会場に入りました。これも洛中方式となっています。各担当委員長の活動報告の後、ガバナー講評では95クラブを回ってこられた感想を交えながら、各クラブで強調してきたこととして、CLPの目指すところはシステムの簡素化により人数の少ないクラブでも全員参加で大きな奉仕活動が出来ます。太い絆から生まれた感動を地域の人に伝えてください。地域のお役に立つロータリーでなくてはなりません、ロータリーの四つのテストの実践

がロータリーであり職業奉仕です。ロータリアンはステータスで、と結ばれました。

これまでに同行取材ということで、福井県の敦賀RCから京都さくらRCまで11クラブへお邪魔いたしました。私の仕事上の日程に合う所へ行かせていただきました、他意は全くありません。洛中RCは私の所属クラブですので同行にはならないかもしれませんが、あえて12番目と言わせてください。

尚地区広報委員諸氏が自クラブへのガバナー公式訪問を原稿にして送付頂き地区のホームページや月信でもご紹介いただいたことを付記いたします。

12クラブだけでは正鵠を外すことになるかもしれませんが、各クラブをお訪ねし、ガバナーを迎える対応が様々であることも感じました。一番の感動は、その日に新入会員を迎え、ガバナーに報告し、ガバナーからバッジをつけてもらっていた光景は忘れられません。増強の成果を喜びあい、素晴らしいことだと深い感動を味わうことが出来ました。

